

峰町敬老会

9月12日峰町佐賀の中対馬開発総合センターで敬老会が行われ、約120人が参加し、カラオケや踊りなど多くの出し物を楽しみました。



和多都美神社古式大祭

9月19日、豊玉町の和多都美神社で恒例の古式大祭が開催され、多くの参拝客で賑わいました。

和多都美神社は、平安時代中期の法令を書いた延喜式えんぎしきの全国の神社の中にも記載されている歴史の古い神社で、彦火火出見尊ひこほほと豊玉姫命とよたまひめのみことを祀り、竜宮伝説を残しています。

本祭では太鼓をたたきながら祝詞のりとをあげ、右手に神楽鈴かぐらすずを持って四方を向いて舞う「命婦の舞」と呼ばれる巫女神楽みこかぐらが奉納されました。これは、



日本の中世以前から奉納されてきた日本の芸能史上もっとも古い形態の舞と言われ、平成8年には国の選択無形民俗文化財になりました。

また、この日は舟グロー大会も開催され、卯麦や廻地区をはじめ5チームが参加したほか、奉納相撲や豊玉小学校の5、6年生による、卯麦地区の盆踊りも披露されました。



救急医療研究会

9月5日、上対馬総合センターで、対馬救急医療研究会が行われました。

この研究会は「救急医療週間」(9月9日の「救急の日」を含む一週間)にちなんで毎年行われ、19回目を迎えました。

今年は「一次救命処置の普及、その後」というテーマで行われました。

一次救命処置とは、心肺停止の人がいる現場に居合わせた人が、AED(自動体外式除細動器)を使って、人工呼吸や心臓マッサージを行う救命処置のことで、早期に救命処置を行うことによって、救命率を飛躍的に上げることが可能になります。



研究発表に参加した市民からは、AEDの設置場所や、設置されたAEDの保守点検などAEDに関する質問が多く出されていました。

AEDは、市役所、空港、フェリーターミナルなど人が集まる場所を始め、市内にある全ての高校と中学校におよそ60台が設置されています。今後、小学校へも随時設置が進んでいく予定です。

AED(自動体外式除細動器)とは：電気ショックを与え、心臓の動きを正常な動きに戻すことを試みる小型の医療機器。



豊崎神社大祭

9月13日、上対馬町比田勝地区では、地区の氏神様である豊崎神社の古式例大祭が行われ、賑わいを見せました。朝8時30分から神社の拝殿では神事が行われ、女子中学生4人による「浦安の舞」が奉納されました。

続いて神社総代、地区の住民が御神体を乗せた神輿を担ぎ、御旅所が設けられた比田勝港の船着き場までのおよそ1.5キロを練り歩きました。

到着した御旅所では神事があり、続いて子ども神輿が街中を練り歩き、神社境内では奉納相撲大会、演芸大会が賑やかに行われました。



99歳(白寿)おめでとうございます



上対馬町河内の大浦秋さんが白寿を迎え市から褒状とお祝い金が贈られました。

大浦さんは明治43年9月17日生まれで、戦後、中国の撫順から幼い子ども6人を連れ、戦地にいる夫の安否を気遣いながら帰島したそうです。

家族からは「女1人で6人の子どもを育て上げ、人一倍苦勞していました。母のおかげで今日があります」と偉大さを語ってくれました。これからも長生きして下さい。

ジェームス三木さん来島

NHK大河ドラマなどを手がけた脚本家ジェームス三木さんが8月25日、市役所を訪問しました。

市では全国に対馬の歴史や魅力を発信しようと2011年に開催される「朝鮮通信使ゆかりの地全国交流大会」での上演を目指してミュージカル作りに取り組んでおり、ジェームス三木さんに脚本を依頼しました。今回の来島は、ジェームス三木さんらに、対馬を感じてもらうことや、地元関係者らへの聞き取りを目的として行われました。

現在、対馬市では、この作品を上演する市民参加型劇団の団員を募集しています。

詳しくは巖原地区生涯学習センターまでお問い合わせください。 0920(52)0363



旅客船事故対策訓練

9月4日巖原港沖合いで行われた、旅客船事故対策訓練は、旅客船の事故対応能力の向上及び、海難救助体制の充実強化を図ることを目的に毎年実施されています。今回は海洋生物などとの衝突事故が発生し乗客が負傷したという想定のもと行われました。訓練には、対馬海上保安部や九州郵船株式会社など6機関、66名が参加しました。

海がとても荒れた中訓練が始まり、ヘリから隊員が救助者1名を引き上げ搬送。その後、ジェットフォイルは港に戻り、船内

に残された重症者1名と負傷者20名を救急車で病院まで搬送という一連の動きを迅速に行いました。

対馬高校体育祭

9月6日、対馬高校で第54回体育祭が開催されました。生徒たちは真剣に競技し、楽しみながら会場を盛り上げました。

応援合戦は、限られた練習時間の中で、生徒が作り上げていく体育祭一番の見せ場です。今年も各班工夫を凝らした衣装を手作りで制作し、応援団員は演技の型を繰り返して練習してきました。



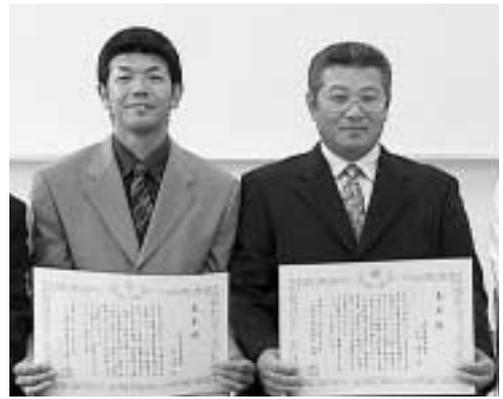
海上保安部長表彰

転覆した漁船から船長を救助した、美津島町高浜漁協所属の吉輪丸船長、草葉英次さんと乗組員の森芳房さんが、対馬海上保安部長表彰を受け、対馬海上保安部の宮崎部長から賞状と記念品が贈られました。

草葉さんと森さんの2人は、7月29日午前6時ごろ美津島町郷崎沖ではえ縄漁の準備中、郷崎北方海域で漁船が転覆している可能性があるという無線を聞き、大荒れの中、ただちに捜索に向かい、転覆した漁船を発見、船底につかまっていた船長を引き揚げ救助しました。

救助の様子を草葉さんは、「3メートル以上の波がある中での救助だったので、一人では助けることができなかったと思います。助けられてよかった」と話しました。

2人の迅速な救助活動に対し、宮崎部長は、「相互扶助の精神にのっとり、人命第一で救助に駆けつけて頂き感謝しています。対馬の皆さんがこれからも相互扶助の精神で、安全第一で操業して欲しいです」と感謝の言葉を贈りました。



表彰を受けた草葉さん(右)と森さん(左)

アカハラダカ展望所

厳原町の内山峠にある「アカハラダカ展望所」は、アカハラダカの渡りが集中して観察できるポイントとして知られており、今年も早朝から対馬野鳥の会のメンバーをはじめ、東京からアカハラダカの渡り観察を目当てにやってきたツアー客などで賑わいました。



アカハラダカは、ハトくらいの大きさの小型のタカで、朝鮮半島や中国で繁殖し、9月ごろ朝鮮半島から対馬・壱岐を通り、東南アジア方面に向かいます。

「対馬野鳥の会」によると、今年は9月6日から渡りが確認できたということでした。



秋のクラシックコンサート

9月23日対馬市交流センターイベントホールで、オペラ歌手中村真紀さんによるコンサートが行われました。オペラを聴くのは初めてという観客からは「すばらしい、感動しました」と声が上がりました。

翌24日には、対馬高校全生徒を対象に対馬高校芸術鑑賞授業が行われ、きれいな歌声はホールに響き渡り、対馬高校の生徒達は、芸術の秋を堪能していました。

